

## 第2学年1組 国語科学習指導案

令和3年12月21日(火)第5校時

### 1 単元名

お話のさくしゃになろう (光村図書)

### 2 本時(第1次・第2時)の目標

コツを使ってお話の『中』のアイデアを膨らませることができる。

### 3 本時の展開

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1.前時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『はじめ』と『おわり』の場面の絵を黒板に貼る。</li> <li>・『はじめ』『おわり』の絵を見て、どんな場面であるか、どんなお話になりそうか意見を出し合ったことの確認を行う。</li> <li>・絵に合ったお話を書くことを意識させる声掛けを行い、『中』のお話はどうなるか問いかける。</li> </ul>	
2. お話の『中』の書き方のコツを、例を使って確認をする。 ◎コツ 問題発生(こまったこと) →問題解決(かいけつのかた)の2つの出来事の順で書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が問題発生(例)の絵と文を貼り、児童に問題発生(出来事)のイメージを持たせる。</li> <li>例)二人のネズミが森の中で道に迷い、迷子になってしまいました。(問題発生) T:「この後どんなことが起きると思う？」</li> </ul>	
3.めあての確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配り、めあてを一緒に確認する。</li> </ul>	
<p>お話の「こまったこと」とその「かいけつのかた」を考えることができるか。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が示した例の問題発生に対して解決方法を問いかけ、ワークシートに絵と文を書かせることでコツを掴ませていく。</li> <li>→個人で考え、ペアで共有する。</li> <li>・読み手が予想していないアイデアを考えている児童をピックアップする。</li> <li>・教師が考えた解決方法を絵と文で示す</li> </ul>	

	ことで、参考例の提示も行う。	
4.自分で問題発生場面を考える。	・ コツをもとに問題発生場面を考えさせ、絵と文をワークシートに書かせる。	○コツを意識して、読み手の興味を引くような、お話の『中』の部分を考えている。【思考力・判断力・表現力】(ワークシート)
5.友達に考えた問題発生を紹介し、その解決方法を考える。	・ ペアで相手に自分が考えた問題発生を紹介する。 ・ 解決方法はどんなことが考えられるかアイデアを出し合う。 ・ 友達、自分に限らず面白いと思ったアイデアを全体で共有する。	
6.自分で問題解決場面を考える。	・ 友達の考えを聞いたうえで、問題発生に対する解決方法を自分で考え、絵と文をワークシートに書かせる。 ・ できたらペアで解決方法まで紹介する。	
7.振り返りを行う。	・ 5 つ星評価でめあてに対する自己評価を行うよう指示する。 ・ 振り返りとして、今日の授業で上手くできたところ、上手になりたいところはあったか問いかけ、ワークシートに記入させる。	
8.まとめと次時の確認を行う。	・ お話の『中』の書き方のコツと、次の授業の流れを確認する。	

◎「おおむね満足できる」状況 (B) と判断する生徒の姿の例  
コツを意識してお話の『中』を考えようとしている。

### 3. 板書計画

